



Sabae Rotary Club

R | 第2650地区 2021-2022年度 鯖江ロータリークラブ

2021-22年度 国際ロータリーテーマ

2021-22年度 第2650地区スローガン



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

「活力と輝き」

—ロータリーの基本を大切に—



鯖江ロータリークラブ会長方針

「元気に～いま、私にできることを～」

会長 帰山 明朝

第3012回
5/27(金)

5月第4例会

点鐘:12:40

テーマ「チャイルドラインについて」

特別福井県子どもNPOセンター

卓話 理事長 谷内 由美子 様

第3013回
6/3(金)

6月第1例会

点鐘:12:40

テーマ「私と百名山」

会員 卓話 吉田 俊博 会員

第3014回
6/10(金)

6月第2例会

点鐘:12:40

テーマ「原発事故後の福島の話」

原発のごみ処分を考える会

卓話 事務局 鈴木 早苗 様

5/27(金)

第3012回

4つのテスト

出席率75.7%

鯖江商工会議所4階大ホール

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

その後、1913年にはデザインのコセプトが変わり、荷馬車の車輪ではロータリークラブの精神があらわされないという意見から歯車となりました。

ただ、この頃は、そうした車輪や歯車といった基本的なことは採用していても、各クラブによってバッジはバラバラで統一されていなかったようです。

そこで、1922年に、すべてのクラブはロータリアン専用の標識として単一共通のデザインを採用すべきだという結論に達し、翌年1923年には、現在の24の歯と6本のスポークで出来た歯車が、国際ロータリーによって採用されました。

そして、1924年には、歯車の空回りを避けるためハブに楔穴(かぎあな)を作り、それが1926年制定モデルになり、1929年には色がゴールドとブルーに決まり現在に至っています。

歯の24個の意味付けとして、24時間いつもロータリー会員が連携をして働き、世界を変える力強い力が生まれるとする説があります。また、歯車は個人ではなくロータリークラブを表しているという考え方もあるようです。いずれにしてもロータリークラブが連携して協働し奉仕の理想を实践する力となると考えられているなど、諸説あるようですが、今のところ国際ロータリーが公式見解を示していないので正解はないようです。ただ、国際ロータリーのロバート・R・バース会長(1993-94)は、当時、ロータリーバッジの意味するところとして、次の5つについて語ったとの記録があります。

1. あなたは私を信用していただいて結構です。
 2. 私は信用に値するものです。
 3. 私の用意はできています。何時でも、あなたのために奉仕できます。
 4. 私は受ける以上のものをあなたに与えます。
 5. 私は人のために奉仕します。
- 以上です。いつも着用するバッジですが、そう考えると身の引き締まる思いですね。
これで会長の時間を終わります。

ロータリー情報の時間



岩尾 顕治

ロータリー情報委員長

今日で今年度最後の情報委員長の時間になりました。

コロナで何回か中断がありましたが、この様な発表の場を与えて頂いた帰山会長に感謝申し上げます。

会員に必要な情報ということで、当初はロータリーの奉仕理論を紹介させて頂きました。

・職業奉仕の理念—経営の外で社会奉仕活動を行うボランティアではなく経営の中にこそ奉仕の場がある。=「最もよく奉仕する者最もよく報われる」

・四つのテストを奉じたまともな経営こそが企業の持続的繁栄を保証する。

理念は分かりましたが、どう実践するかが重要です。そこで今年度の発展的形態として、来年度は「ロータリー一経営塾」を開催します。

委員会報告



岡本 圭子 親睦委員長

来月6月24日(金)最終例会は、『天狗楼』に於いて行います。詳細は後日いたします。

家庭会合1班の方は、本日は行いますので、お集まりください。

先日『大坂山』に行っていました。すごく楽しかったです。また、来月26日(日)に『越知山』へ行く計画があります。皆様のご参加をお待ちしています。

幹事報告

野呂 和夫 次年度幹事

次年度理事会を例会終了後に、鯖江ロータリークラブ事務所にて開催いたしますので、次年度役員の方は、お集まりいただきますようお願いいたします。

開 会 点 鐘
四 つ の テ ス ト
ロ タ リ ー ソ ン グ
会 長 の 時 間
幹 事 報 告 等
プ ロ グ ラ ム
閉 会 点 鐘

ロータリーソング



奉仕の理想

会長の時間



帰山 明朝 会長

皆さん、こんにちは。今日は、私達が例会時に身につけておりますロータリークラブの徽章(きしょう)いわゆるロータリーバッジです。この歴史について、お話をさせていただきます。この歴史について、お話をさせていただきます。

この徽章、ロータリーの初期には幾度となくデザインが変更されました。最初のは1906年に制定。荷馬車の車輪をデザインされました。そのデザインは、シカゴのロータリアンの手によるもので、荷馬車の車輪と、それに舞い上がる運動を表す数条の線をあしらった図柄でした。この車輪は「文明と運動」を象徴化したものだと言われています。

(特非)福井県子どもNPOセンター

卓話

理事長 谷内 由美子 様

テーマ「チャイルドラインについて」



孝久 治宏 プログラム委員長

本日の卓話者は、認定特定非営利活動法人福井県子どもNPOセンター理事長、谷内由美子様です。福井市木田小学校の西隣に所在。子供たちが豊かな子供時代を過ごせる社会を目指しています。

団体の目的は、県内の子供たちに対し、文化権の確立と社会参画機会の拡充を図って、成長発達に寄与する事。

事業内容は、子どもの権利条約の推進及び諸活動に関する事業、人材育成事業、子どもと文化に関する事業の企画・調査及び連絡調整事業等。皆様、拍手でお迎えください。



卓話者：(特非)福井県子どもNPOセンター
理事長 谷内 由美子 様

テーマ：「チャイルドラインについて」
「ひとりじゃない」

この言葉は、ふくいチャイルドラインの大きなテーマの一つになっています。

子どもにまつわる痛ましい事件や事故が後を絶ちません。2000年に児童虐待の防止等に関する法律が制定され、様々な取り組みや地域活動等が盛んになってきています。しかしそれでもなお、こうした事件が起こるのはなぜなのでしょう。国や自治体の考え方や政策に不備があるのでしょうか。

一つ言えることは、子どもたちに「罪はない」ということです。

子どもたちの周りにいる大人が、どのように考え、どう接していくといいかを見極めて関わっていくことが、子どもたちの成長に大きな影響を及ぼしているということは明らかであると考えます。

複雑な家庭環境の中で生活している子どもたちがいます。自分一人では抱えきれない荷物を背負っている子どもたちがいます。人との関係に悩み、傷ついている子どもたちがいます。そんな子どもたちの声を聴き、寄り添うことがチャイルドラインの大きな役割なのです。

チャイルドラインは問題解決を目的としていません。会話の中から、「子ども

たちが自分で考え、感じて、答えを見出していけるように、一緒に考える。」という姿勢を持っています。

「〇〇した方が将来のためになる。」「～はこうあるべきだ!」「そんなことはしてはいけない。」など、安易に大人の意見や考えを押し付けるのではなく、子どもたち自身がどう考えているのか、どう感じているのかを聴き、今後どうしていきたいのかを一緒に考える。あくまでも子どもの主体性を尊重しながら関わっていきます。

どうにもならないような状況の中でも、会話を通じて、「ちゃんと話を聴いてくれる人がいる。」「自分を認めてくれる人がいる。」「自分は一人じゃない。」と感じることで、子どもたちは前を向いて自分なりの答えを見つけることができるのです。

子どもたちはその力を持っているのです。
今後も受け手ボランティアと一緒に、子どもたちとの「一期一会」の出会いを大切に、「声を聴く」活動を続けていきたいと思えます。

そして、子どもたちに…

「一人じゃない」というメッセージを伝えていきたい。

これからも、ふくいチャイルドラインならびに福井県子どもNPOセンターへのご理解とご協力をお願いいたします。

子どもの権利条約 4つの柱

1 生きる権利



2 育つ権利



3 守られる権利



4 参加する権利



©日本ユニセフ協会 イラスト：Hiromi Ushijima



家庭会合報告

2班：増永英彦チーフ(代読：窪田健一副チーフ)

5月20日(金)18:30より『當田屋御殿』に於いて、「コロナ禍におけるロータリー活動」について、5名出席で行いました。帰山会長は冒頭挨拶で退席され、続いて話し合った内容は、今期の活動についての総括的なものになりました。

○コロナ禍も2年を経て、今期は、例会への出席率が比較的良かったと思われる。

○例会における食事の摂り方について、今は同一方向を向いて食事を頂いているが、欲を言えば、以前のように円卓での会食形式が望ましい。ただ、現状今しばらく無理な状況が続くと思う。

○コロナ禍にあって、今期は、積極的に屋外での活動・プログラムを実施して、多くの会員が参加出来たことは大変良かったのではないかと。

○今期は毎月第3例会を文化プログラムとして主に音楽鑑賞を卓話時間に充てる試みを実施してきたが、これも非常に良かったと思われる。予算の関係もあろうかと思うが、この試みは次年度においても継続されることを望みたいものである。

○コロナ禍で何かと活動に制約のある中で、にもかかわらず、新入会員を迎え入れられたことや、米山奨学生の受け入れ、社会的ハンディのある人のアート展を開催したことなど、しっかりとロータリー活動を実施した一年であったと思う。 などなど、主なものをご報告させていただきました。

3班：田村康夫 副チーフ(清水康弘チーフ)

2班と同じく、5月20日(金)18:30より『天狗楼』に於いて、「コロナ禍におけるロータリー活動」について、佐野幹事含めて8名出席で行いました。



福祉事業もしっかりやられ、吉江学園の事業や、第3例会の文化プログラムも、大変良かったとの意見が出ました。次年度も引き継がれるようですので、よろしくお願ひします。

他クラブの状況は、例会も満足に出来ていない所、オンライン例会等、苦勞されているようで、鯖江クラブはしっかりとやって素晴らしい年度だという意見。例会の食事が楽しみなもので、また円卓に戻れたらいいなどの意見。また、厳格な中での例会は分かりませんが、来るたびに作業服を着替えてくるのが辛いという意見があり、式典等正式な場は正装はもちろんですが、仲間内での例会は作業服でもという事も検討していただきたいとの意見も出ました。

次年度会長・幹事より、「ワクワク感度・仲良く楽しい鯖江ロータリーに」がテーマのようです。次年度もよろしくお願ひします。

ここにBOX報告

- 帰山 明朗 会員 谷内様みんながまる展も大変お世話になりました。今日も卓話をありがとうございます
- 佐野 直美 会員 "
- 岩尾 顕治 会員 1年間情報委員長の話をお聞きいただきありがとうございました。
- 黒田 敏夫 会員 家族の眼鏡ではおつもお世話になっています。梅田会員に感謝
- 齋藤 多久馬 会員 谷内さんの卓話を楽しみに
- 梅田 吉臣 会員 "
- 田村 康夫 会員 "
- 窪田 健一 会員 "
- 清水 康弘 会員 "
- 酒井 芳則 会員 "
- 大橋 良史 会員 "
- 小淵 洋治 会員 "



ニコニコ箱発表
小淵 洋治
ニコニコ委員長